

# 長 船 ニ ュ ー ス

三菱重工株式会社  
長崎造船所

長崎市飽の浦町1-1  
TEL ④ 4111

編集 小林 裕  
発行人

印刷所 菱重印刷

10月の工程ニュース

7日⑧ 2010番船 進水

8日⑨ 2000番船 進水

中旬 関電南港 1B 立柱

中旬 大王製紙三島

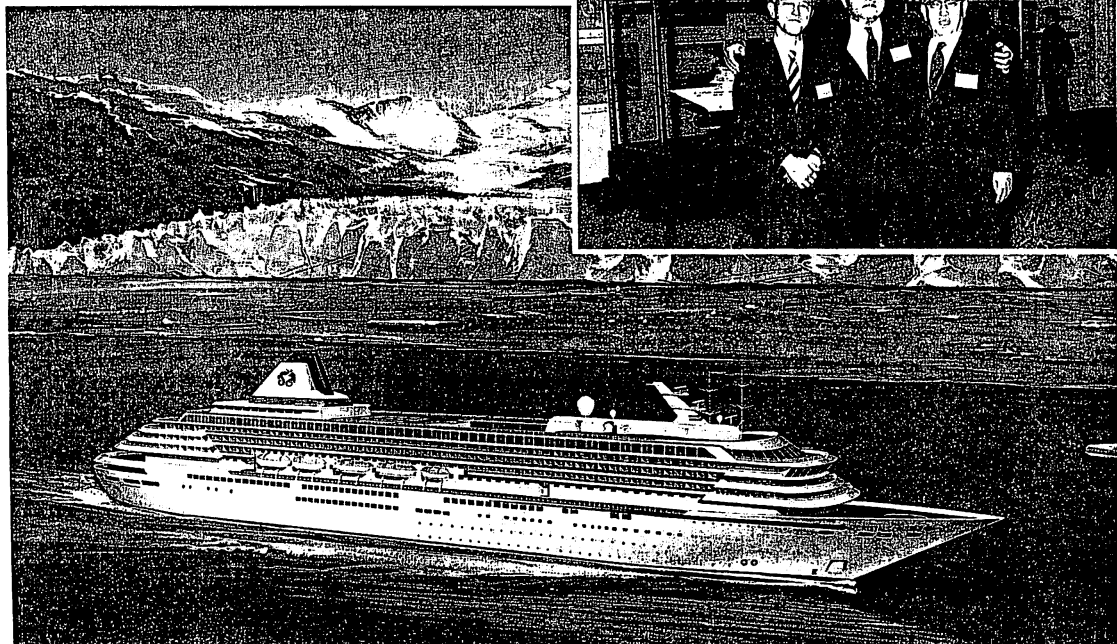
19B 水庄

## 太平洋文化の懸け橋に！

日本郵船

豪華客船の完成予想図を披露

# 10



日本郵船向け豪華客船の完成予想図とクルーズ事業進出披露パーティー会場  
左から宮岡社長、飯田社長、小野会長

日本郵船株から正式受注し、当所で建造される世界超一流のクルーズ客船の概要と完成予想図が、9月22日に開かれた日本郵船株主催のクルーズ事業進出披露パーティーで発表された。

この席には、日本郵船株の小野会長、宮岡社長をはじめとする幹部が出席。当社から飯田社長、田代、相川両副社長、当所より宮崎所長らが出席。宮岡社長から、「日本郵船株はクルーズ事業に進出することを決定しました。本船の建造を第一歩として、太平洋沿岸諸国の皆様から愛されるクルーズ船隊を造りあげ、「太平洋文化の懸け橋」となるべく努力していきます」と挨拶がのべられ、その後本船の概要を発表された。

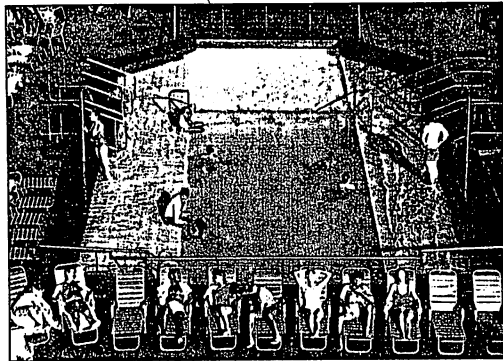
本船は、白を基調としたスマートな船型で、太平洋でのクルーズを考慮し、揺れの極少化を図ったデザインとしている。船名は「光輝く太平洋の世紀」をイメージしたものになる予定。また、会場には、 $\frac{1}{100}$ の模型も展示され、出席者の注目を集めていた。

このクルーズ客船は、来年初めから建造が始まり、昭和65年6月に完成予定。

21世紀へつなぐ 新技術  
その1

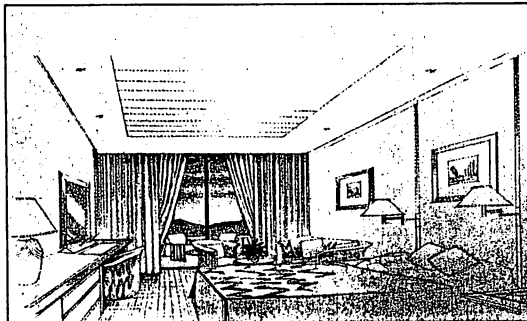
日本郵船向け 超一流のクルーズ客船

夢と遊びを満載の船内



プール

さんさんと輝く太陽の下、プールで泳ぎ、日光浴。季節によっては屋内プールも楽しめる。泳いだ後はサウナで汗を流し、マッサージのサービスも。



キャビン

すばらしい意匠のデザインを500室近い客室に具現。豪華な内装と最高級の設備をもった客室は、クルーズ客の頼みの場。

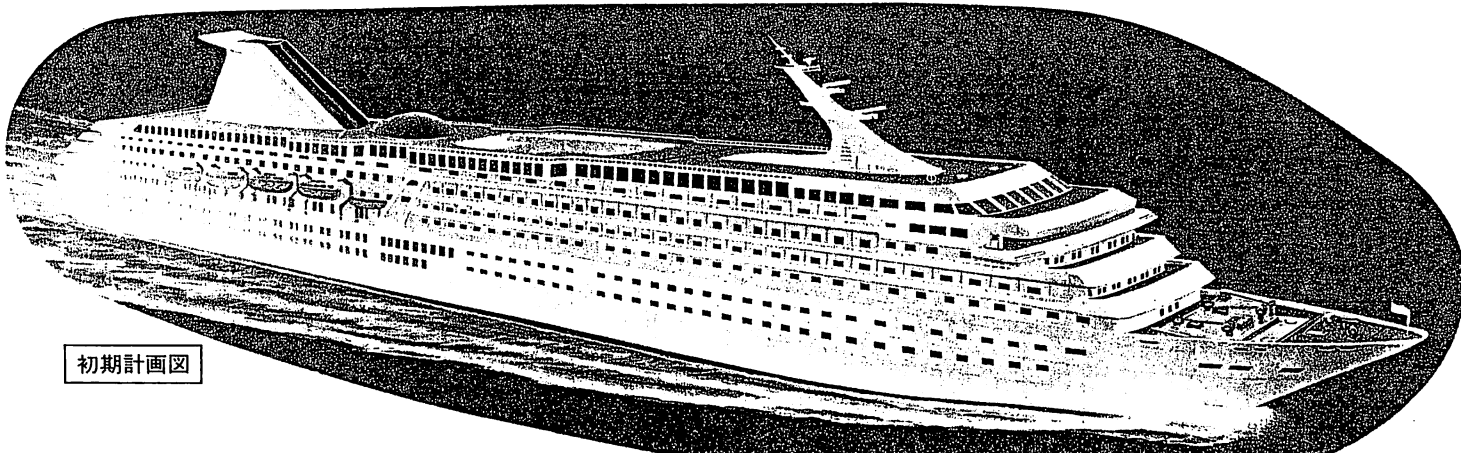
当所及び長研が取り組んでいる未来に向けての新技術新製品を、今月から「21世紀へつなぐ新技術」と題してシリーズで紹介する。第1回目は、このほど受注が決まった日本郵船向け「豪華クルーズ客船」に焦点を合わせ、そこに生かされている新技術を紹介する。当所は戦前、100隻近い客船を建造した歴史があるが戦後は初めてのことで、本船は昭和65年6月に完成予定で、世界に類をみない超一流の豪華クルーズ客船となる。

クルーズ客船には豪華な食事、すばらしいショー、一流ホテルにも劣らない客室など、最高のレジャー設備が備わっているばかりでなく、船旅という陸にはない夢と遊びの生活が同時に味わえる。

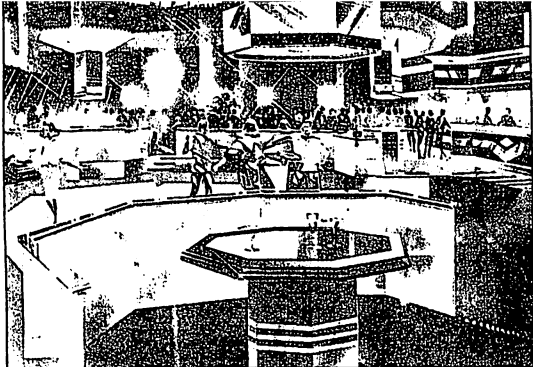
しかし、それを実現するためには船特有の安全性・信頼性の確保、船体運動・振動・騒音の軽減といった陸にはない問題を解決しなければならず、ここに、レジャーと技術を結びつける新分野が開拓されようとしている。

ここでは、この「夢と遊び」とハイテク技術を紹介しよう。

長船・長研の新技術を随所に適用

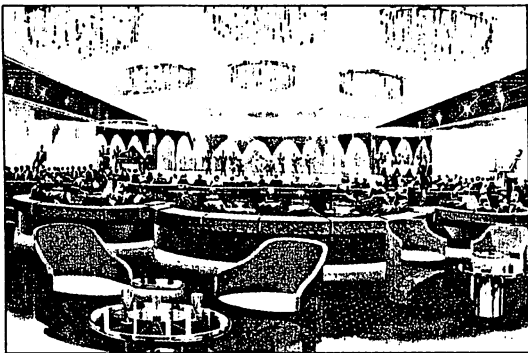


初期計画図



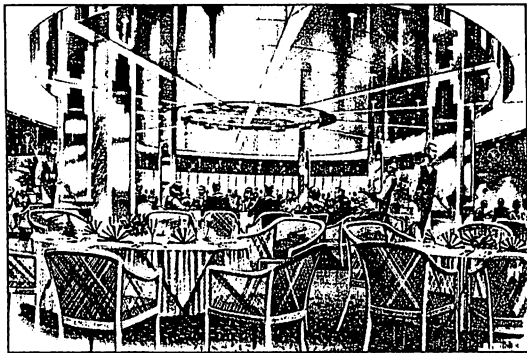
### ディスコ

ダイニングルームで夕食、ショーラウンジでショーを楽しみ、その後はディスコで軽く飲みながらの一踊り。軽快な音楽と、快い酔いで素晴らしい夜を満喫できる。



### ショーラウンジ

ショーラウンジ、メインラウンジでは、すばらしい音響、舞台設備で、ブロードウェイの一流ダンサー、エンタティナの最高のショーが楽しめる。



### ダイニングルーム

一流シェフが腕によりをかけた各国の料理が出され、毎晩フルコースの豪華なディナーが楽しめる。セカンドレストランでは、すしや刺し身のサービスも。

### 電気推進システム

電気推進方式は、静かで操縦性に優れた交流モーターで、可変ピッチプロペラをスムーズに回転させる。推進モーターの回転数を自在にコントロールできる新装置も。また、パワーマネジメントシステムにより、発電機エンジンは電力の変化に合わせて自動的に運転台数が制御され、常に最適な運転状態を保つ。

### 最新ニュースが客室へ

海上衛星通信装置インマルサットを2台装備し、太平洋上の客室から世界中どこへでも電話がかけられ、毎日の最新ニュースが衛星を中継して受信し客室へ配られる。また、衛星テレビ専用アンテナが装備され、スーパーボールやワールドシリーズが生中継で船内で楽しめるなど、新時代の通信システムを装備。

### 自由自在な操船

バウ・スラスト、二軸二舵、可変ピッチ・プロペラをコンピューターで制御することにより、レバー1本で（ジョイスティック・コントロール）思いどおりに船を動かせる。このため、ひんぱんで複雑な接岸、離岸時の操船が、非常に簡略化される。スムーズな船の動きは、見る人に感銘を与えることだろう。

## 担当者の声

造船屋の夢が実現！



船計 佐藤 功

「客船を造りたい」多くの造船屋の夢だと良く言われる。私もそうであった。しかし夢が現実となると、そのギャップに否応なく目覚めさせられてしまう。船旅の楽しさを十分たんのうしてもらえぬ船をめざし、その難しさを痛感する毎日である。

### 膨大な内装範囲



船装設 荒木 喜春

客船における内装範囲は商船に比べ桁違いに膨大。ホテル設備をはじめ、ショーラウンジ、ショップ、シネマなどを、海外の5人のインテリアデザイナーと協業して、スムーズに設計を展開して行くことが本船最大のポイント。大きな意欲で取り組んでいる。

### 世界に誇れる客船に



電装設 山崎 健二

客船プロジェクトに専従して満2年。客船とはの勉強から始まり、数度の引合いを経て、やっと念願の受注。しかしこれからが正念場だ。戦後初の国産大型豪華客船として世界に誇れる素晴らしい客船を完成させ、三菱長船の底力を世界に示そう！

# 長船ニュース

## 10月の工程ニュース

31日◎ 2014番船

命名引渡

上旬 インド・オーライヤ

1B 火入れ

中旬 大昭和製紙鈴川

11B 水圧

下旬 インド・オーライヤ

2B 火入れ

下旬 本州製紙釧路

4B 水圧

下旬 名古屋バルブ

3B 水圧

三菱重工業株式会社  
 長崎造船所  
 長崎市飽の浦町1-1  
 TEL ◎ 4111  
 編集 小林 裕  
 発行人  
 印刷所 傑リョーイン

## 豪華クルーズ客船が進水

### 9月30日 長崎港に浮かぶ白い船体

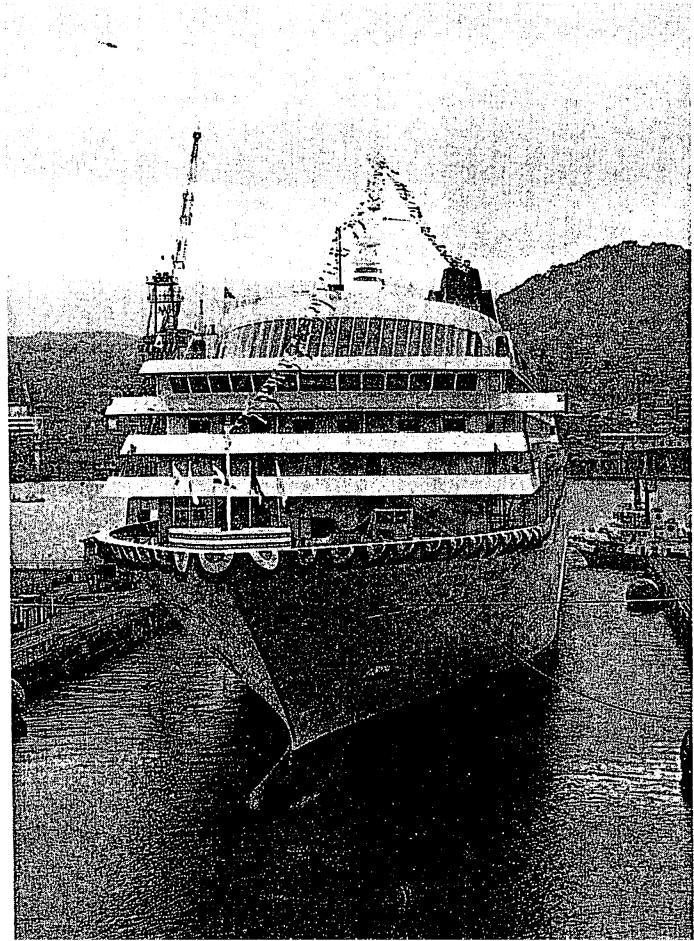
今年4月始めから、第一ドックで建造を進めていた日本郵船(株)向け豪華クルーズ客船「クリスタルハーモニー」(当所2100番船、約4万9,400総トン)が9月30日進水した。

満船飾りに彩られた「クリスタルハーモニー」は、関係者が見守る中を、午前9時30分に出渠を開始し、白く輝く船体を長崎港に浮かべた。

この日は、世界最高級の豪華クルーズ客船の進水とあって、数10社の報道陣による取材が早朝から行われ、進水の模様や関係者の声などが、新聞、テレビ、ラジオなどで全国に紹介された。

「クリスタルハーモニー」は、向島岸壁に接岸され、いよいよ艤装工事が本格化する。

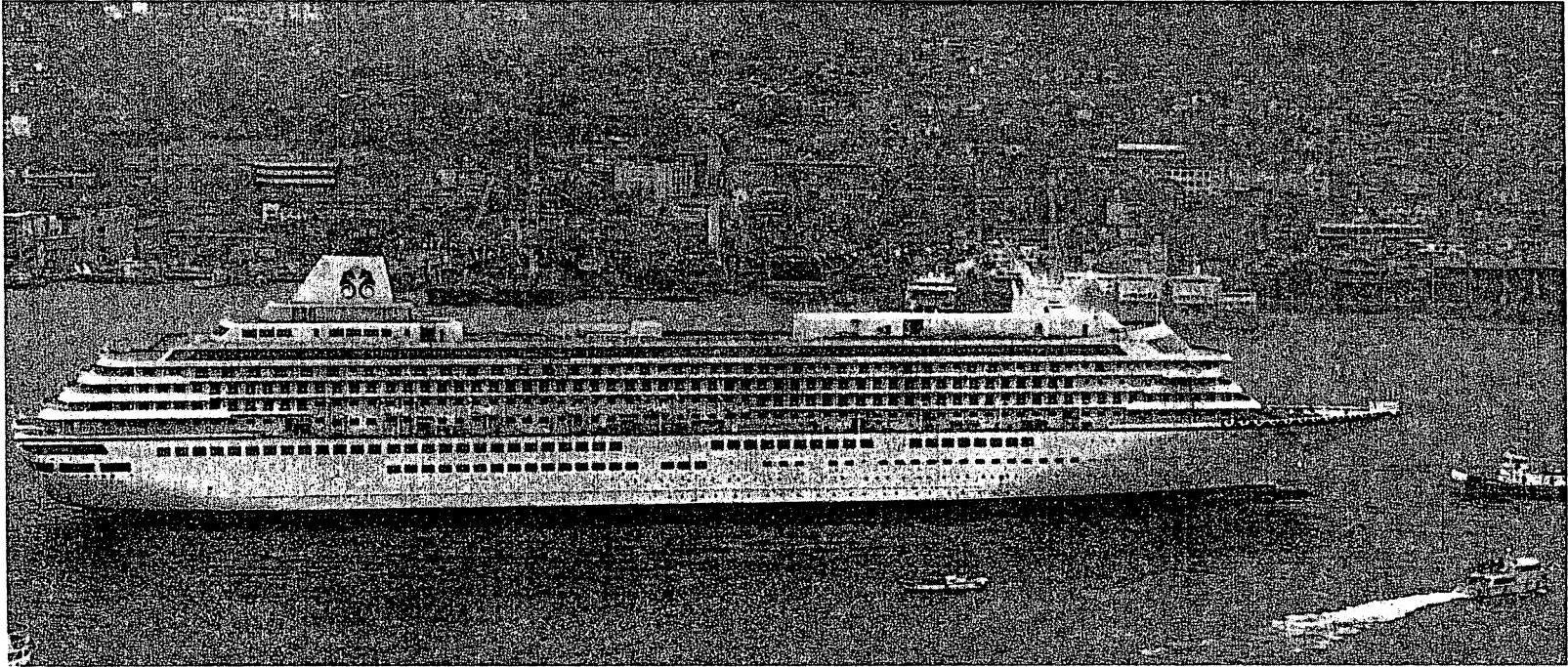
竣工は来年6月末の予定。



# 10

午前9時30分、長船マンの夢を乗せて第一ドックからゆつくりと出渠する豪華クルーズ客船「クリスタルハーモニー」

長崎港に白く輝く船体を浮かべた「クリスタルハーモニー」



海と空と



或

る乗物マニアのお話し。乗物事始め自動車で、昭和29年高1の時免許を持った。船は乗るか造るか迷った末、大学は船学科としたが、遊び(部活)は航空部とした。当時、新入部員の訓練は、ムキ出し座席初級機に一人が乗り、12人程がこれにゴムをかけて引張って飛ばすことから始まった。索を引く。機を追って走り元の位置まで運それも15回程繰り返してやっと搭乗の番が少ない。飛行時間30秒。辛い作業の割には報酬

多すぎる新入部員をふるい落とすシゴキで、夏の合宿をくぐると半数が抜けた。ワインで引いて高度300mを飛ぶ中級機に乗って、じめて空は甘美となる。飛行機に曳かれて度2千mで離脱する上級機に乗る頃には一前を気取った。造船科の主任教授からは「んなことに時間とっては卒業できん。即刻部」の忠告を受けたが続けた。

4年の夏、大阪の八尾飛行場で全国大会訓練に参加していた。新品の上級機で生駒脈上空2千mで飛行機から離れ、斜面上昇に乗って滞空時間を稼ぐ訓練だったが、高判定を誤り飛行場に降り着かず民家集落に突。機は大破。身はカスリ傷一つ無しで、ヨゲては見せたが心は英雄気分だった。

しかし日が経つにつれ恐さがつって来長船への就職も決っており「空は止めた」言ってもおかしくはなかったのだが、面子あって冬の合宿で再び生駒上空を飛んでいる方向舵を操る両の脚が突然震え出して止まない。機は方向が定まらない。震えは着陸瞬間まで止まらなかった。

初級機では教官の怒声が聞えた。中級機は司令所の旗の合図が見えた。上級機では航機からの有線電話が切れた後、通信機もく誰にも相談できない指示も無い孤独。孤の恐怖を散々味わってやっと卒業した。

造船の現場も大草のヨットも厳しさが無った訳ではないが、孤独だけは無縁で大きい満足して過した。

平成元年3月、セスナで単独飛行に出していった。長崎空港へ着陸即離陸を3回行う短飛行だったが、管制塔から英語日本語混じりの親切な指示があり、脚が震えることはなかった。27年振りの単独飛行で、繰縦士達ら「プラボト」の祝福を受けた。免許取るで何年かかるか分らぬが、熟年の元気を示て見たい。

造船総括部主管 細田 隆